

**広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書**

記入日 2018年 5月 20日	
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	ジェームズマディソン大学 (国名：アメリカ合衆国)
所属学部・学科等名	
在籍身分	
留学期間	2017年 8月 20日～ 2018年 5月 3日

### 1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	英語教員を目指していたので語学力の向上とアメリカの文化の理解を現地の方々との交流を通して深めたいというのが一番の動機だった。ジェームズマディソン大学を希望した理由は学部一年次にSTARTプログラムで一度行ったことがあったというのが一番大きかった。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	応募をする一年前から TOEFL の勉強を少しずつ始めていた。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	英語の勉強以外には特にしていなかった。 現地の学生の話についていくために、ドラマや音楽、テレビ番組などのポップカルチャーについて少しは予習をしていけばもっと仲良くなれていたかもしれないと思った。

### 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類：J-1
	ビザ申請先：在大阪・神戸米国総領事館
	提出書類： DS-160 ビザ申請書、パスポート、証明写真、面接予約確認書、I-20
	手続きに要した日数：1か月程度
その他必要な事前手続き	SEVIS 費用の支払い(I-20 を有効にするため)
出国年月日	2017年 8月 17日
経路 (往路)	関西国際→羽田 成田国際→ダラスフォートワース→ダレス国際
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者 ・ その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (期間：一週間程度 内容：施設の説明、レクリエーションなど) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018年 5月 11日
経路 (復路)	ロナルドレーガン→オヘア国際→成田国際 羽田→関西国際

### 3. 留学費用について

支出額	総額	144万	円	
	内訳	渡航費（往復）	13万	円
		ビザ申請手数料	2万	円
		予防接種費用	5万	円
		保険料	9万	円
		教材費（授業料以外の学費）	10万	円
		宿舍費（住居費）	60万	円
		光熱費	0	円
		食費	35万	円
		通信費（インターネット・携帯）	0	円
		交通費（宿舍ー大学間）	0	円
		交際費	10万	円
その他（ （ （ （ 費） 費） 費） 費）		円 円 円 円		

#### 4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	一つの授業が週に二回(75分)から三回(50分)行われる。週一回(150分)の授業もある。最低取得単位が12単位となっていて、一つの授業3単位が基本なので最低四つの授業をとることになる。基本的にどの科目でも履修できるが prerequisite がある授業は履修できないが、教授に直接相談すれば履修できる可能性もある。私は専門の英語学と、ライティング、英語教育、教育学の授業を履修した。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	留学前の履修の段階ではシラバスがまだ公開されておらず、授業に関する情報がかなり少なかった。授業が始まる直前、もしくは始まってからシラバスが公開されるのでそれを見て履修する授業を考え直すことを薦める。どの授業も課題がとて多と思うのでかなり時間がかかることを予想して計画を立てるのが良い。ライティングセンターや留学生向けのサポートをしてくれる場所が Student Success Center にあるので活用することをお勧めする。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	先生のオフィスアワーを活用することがとても効果的だった。私の場合、英語力が不足していたので講義では理解できなかった部分や課題の意図が読み取れなかったときには出来るだけ先生のオフィスアワーを活用して質問をするようにしていた。数多く行けば先生も気にかけてくれるようになるのでより協力的になってくれる。私がとった授業の先生は全員とても留学生に理解のある先生だった。

#### 5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約 4 m <sup>2</sup> (寝室)	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 3人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（一万円程度のルーターを購入した。 ）		
住居費	1ヶ月当たり	(現地通貨)	約 5,5000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	ルームメイトの希望を書く様式にははっきりと自分の希望を書くことが重要。私の場合、喫煙者を許可していたが、ルームメイトが室内で喫煙(ルール違反)しており、そのことでもめてとてもストレスがたまった。特に喫煙に関しては、喫煙者以外は喫煙者を避けるべきかもしれない		



ルームシェアをする際には様々な注意が必要だった。共有のスペースに置いている食料や食器などは勝手に使われる言ことがとても頻繁にあった。張り紙などをするか、自分の寝室で保管するのが好ましいと思う。早い段階で話し合いをするのも良いかもしれない。

(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの

普段の生活で使う小物や消耗品はスーツケースと相談をして持っていけるものは持って行っておくと留学の序盤の忙しさが少し軽減されると思います。逆に普段使わない物は荷物になるので置いて行きましょう。必要となれば大抵のものは留学先のお店で手に入ると思います。

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

## 6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2019年 3月 (当初の卒業予定年月 2019年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	予定通り卒業して中学校の英語教諭になる予定である。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	

## 7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント

## 8. 後輩へのメッセージ

留学にはとても多くの時間とお金が必要です。しかしそれに見合った経験値を得られる可能性はとても高いと思っています。留学を志している時点でモチベーションは十分に高いと思うので、あとは具体的に留学先でどんなことに重点を置きたいのか、どのような目標を達成したいのかなどの計画を綿密に立てることがとても重要だと私は自身の留学を思い返して痛感しました。大変なこともたくさんあると思いますが、大きな自信につながると思うので頑張ってください。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

留学を終えて一週間が経った頃にこの振り返りを書いているが、今の段階では自分の中で劇的な成長があると感じることは出来ていない。語学力については理解する力が伸びたと思うが、映画やスポーツの実況などでネイティブの方が話している内容を十分に理解できないのは留学前と変わっていないのではと感じている。そのほかの能力についてもこれから実際に使っていく中で自分の成長を感じられる時が来るのではないかと期待している。また語学力を測るテストや検定なども自分の成長度合いの参考にしようと考えている。

今回の留学期間中に最も印象に残ったのは Vision Conference というアメリカの大学生とそのほかのスタッフが集まってキリスト教について学ぶための集会に私も参加したことである。留学をする以前は日本でキリスト教に深くかかわるという経験をほとんどしてこなかったためこの行事で多くのキリスト教徒の方とその信仰について議論することはとても刺激的だった。この行事を通して私はキリスト教の信者になるということではなかったが、宗教を人生の中心においている方がたくさんいるということを知ることができた。日本では宗教が持つ力は比較的小さく、このような体験をするのは難しいと思うので、貴重な体験ができてよかったと考えている。アメリカでは私が少数派であったが、日本ではキリスト教徒の学生や地域の方々も少数派であると思うので、そのような異なる文化や常識を持っている方との相互理解をするために今回の経験が役に立つと期待している。

目に見える成長を感じることはあまりできていないが、9か月という時間を外国で過ごし、2セメスター分の授業をやり遂げたという事実は私に大きな自信を与えている。この9か月の間で今までは出せなかったようなレベルの力を何度も出すことができたと思う。自分の限界がまだ先にあることを知れたというのは大きな成果だったのではないかなと思う。また留学先での授業の課題をこなすには膨大な時間を必要としていたので、その課題を無理なくこなすために計画的に生活をする必要があった。その課題をこなしていくうちに計画を立てる力と実行する力が伸びたと考えている。

私は将来的には中学校の英語教諭になることを希望しているので、今回の留学での経験や成果を様々な点で生かすことができると考えている。初めに、語学力については基本であるインプットをこの9か月で大きく積み上げることができたので、これからの学習をしていくうえで大きな助けになると考えている。次に文化理解の点では、アメリカの文化の重要な部分の一つであるキリスト教に触れることができたというのは、その言語を話す方々の理解が深まったことに加え、私の英語の力にも大きくかかわってくると考えている。言語と文化の理解を少なからず深めることができたというのは英語の教員になる私にとっては大きな進歩だったと感じている。

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。